

平成30年度 特別研究推進費実績報告書

2019年 4月17日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 法学部・教授

(氏名) 申東愛

平成30年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、次のとおり報告します。

研究課題名	日常化する大気汚染と気候変動 (climate change) 政策の比較分析 —越境するPM2.5と再生エネルギー政策を中心として—					
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	<p>気候変動問題が、1990年代に世界的に大きな議論になってから、原子力発電所が増加した。しかし、2011年に福島原発の事故が起き、原発の安全性が問題になっている。そのため、各国では、火力発電所の建設に膨大な予算を編成し、執行している。しかし、このようなエネルギー政策の変化は、大気汚染にも大きな影響を与え、PM2.5問題が深刻な政策課題になっている。特に、経済成長が急激な途上国は言うまでもなく、国内政治の利害関係や産業構図のためにパリ議定書から脱退したアメリカ、日本など先進国でも大気汚染が大きな問題になっている。これに対して、2015年にパリ協定 (Paris Agreement) が採択され、各国のエネルギー政策の転換が行われている。</p> <p>以上のような背景から、本研究は大気汚染を再生エネルギーから取り上げることとした。すなわち、本研究では、大気汚染を環境問題としての「大気」と「エネルギー」の因果的な観点から取り上げ、エネルギー政策の転換による大気汚染、気候変動の問題に帰結させている。具体的には、経済成長に伴う都市化率の増加、都市環境の問題について、理論的な検討を行い、地域の再生エネルギー政策について比較研究を行った。</p>					
事項	合計	使用内訳 (単位: 千円)				
		備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
交付決定額	699	145	83	18	0	453
支出金額						
執行残額	699	145	83	18		453
共同研究者	所属・職名		氏名		役割分担等	
	法学部・教授		申東愛		研究総括・連絡	
	SangMyungUniversi		Kim,Young Mi		政府学研究	
	KonkukUniversity		Lee,Sang Yep		国際関係学	
Sungkyunkwan Univ		Park, Hyung Jun		財政学研究		